

⑦
70代

2024年度

平和の取り組み

「戦争・平和についてのメッセージ」と
「平和についての本・映画・歌などの情報」
を募集しています。

いただいたメッセージは
8月3回（7月29日から配布）の
「にじのわ」で紹介する予定です。
あなたの平和への思いをお聴かせください。
メッセージ締め切り：**7月5日（金曜）**

昨年いただいたメッセージ

私は、9歳の時、広島で被爆いたしました。
原爆ドームより西へ1.5kmの所に住んでいま
した（広島市中区弥生町）。母・姉・祖父母を
亡くしました。母は崩壊した家屋の下敷きにな
り、上半身は見えているが下半身は身動きが取
れず、私と兄に「はやく園子を連れて逃げなさい
っ！」と。姉は囲いの中から、「開けてー！」
と叫んでいました。祖父母は、お骨を探し出す
こともできませんでした。私と兄が逃げる後姿
を、母はどのような想いで見ていたのしょう
か・・・火が迫ってきたときは・・・？姉にど
んな言葉をかけてあげていたのでしょうか？私た
ちの生あるうちに皆さんに伝えたいです。
(中津園子さん)

平和の 活動支援募金

「家族の健康・子供の健やかな成長には平和な社会
でなければならない」という想いから、コープみやざき
は設立当初より組合員さんと共に「平和の取り組み」
を行っています。平和の活動支援募金はコープみやざ
きの平和の取り組みの活動資金の一部として大切に
使わせていただきます。

募金方法：8月4回（422号）まで、注文番号 **626** 番で
1口100円から募金ができます。
お店のサービスカウンターにも8月31日（土曜）まで
募金箱を設置しています。

●2023年度 平和の活動支援募金 収支報告			
収入			
2022年度より繰越 (2022年3月末)	331万276円		
2023年度募金(7月)	31万8,018円		
	計	362万8,294円	
支出			
「宮崎県原爆被害者の会」へ寄付	10万円		
ピースアクションインオキナワ	25万6,220円		
	計	35万6,220円	
2024年3月末現在	残高	327万2,074円	



宮崎県原爆被害者の会へ
鶴崎京子理事がお渡ししました。

みんなで学び合う場に

終戦から79年を迎えます。悲惨な戦争を
体験された方々からお話を聞く機会も少なく
なりました。しかし、世界に目を向けると、
ウクライナや中東の戦争など、いまだ多くの
命が失われ、生活が脅かされている状況にあ
ります。

命の大切さ・平和の尊さを未来の子どもた
ちにつないでいくためにも、平和への思いや
体験されたことをお聞かせいただき、**みんな
で学び合うことを大事にし
たい**と思います。現地での
平和学習も計画しています。
広島・長崎の地で平和への
思いを深める機会になれば
と思います。



会長 吉元美智

2023年度 組合員さんと取り組んだ平和活動です

知覧平和の旅（2024年3月2日）

宮崎県生協連主催

コープかごしま様のご協力でガイドをしていただき、知覧
周辺の戦跡や知覧特攻平和会館などを見学しました。



コープかごしまのガイドさんの話に聴き入る参加者



特攻兵が宿泊した三角兵舎跡地を見学

修学旅行で鹿児島島に行きました。その時に知
覧の特攻平和会館がとても心に残り、機会があ
ればまた行きたいなと思っていました。

平和会館では遺書や写真の一つひとつから戦
争の悲惨さが伝わり、胸が痛みました。これから
も平和というものの大切さや、戦争という悲惨
なことをしてはいけないということを伝えてい
かなければならないと改めて感じました。
(小学6年生 K・Kさん)

戦争遺跡めぐり（2024年3月23日）

宮崎県生協連主催

宮崎空港（旧赤江飛行場）周辺に残る^{えんたいごう}掩体壕や地下壕跡などを見て
回り戦争を起こしてはいけないことを身近な戦争遺跡で実感しました。



有蓋掩体壕を見学。周辺では最大規模。



地下壕跡。現在も地域の生活道路として利用されています。

今回初めて戦跡巡りに参加しました。宮崎に長く住ん
でいますが、戦跡があることも最近まで知りませんでし
た。慰霊碑に参るのは2度目ですが戦死された方々のお
名前を見る度に一人一人の人生を思い、胸が痛くな
ります。学校入り口の門跡など県民に一度は訪れてほし
い場所だと思います。掩体壕は思ったよりずっと大きく、
ここまで飛行機を押して運んだという若者たちのこと
を思いました。地下にあった基地を埋めてしまったこと
が残念でなりません。今回は大変貴重な経験をさせてい
ただきありがとうございました。(宮崎市 I・Sさん)

ピースアクションinオキナワ（2024年3月27日～29日）

コープみやざきからは5人の組合員さんと、その家族が参加しました。住民を
巻き込んだ地上戦の歴史、米軍専用施設が集中する沖縄の現状を学びました。



昭和20年4月1日、この海からアメリカ軍が上陸



糸数壕（アブチラガマ）見学

沖縄の歴史とか知れてうれしかったです。学校では沖縄の
ことはあまり勉強で出ていなかったもので、沖縄で戦争があっ
たことすら知りませんでした。けれど戦争で大変なことがあ
ったんだなと思いました。(小学5年生 ひなたさん)

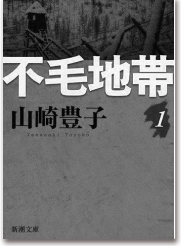
（前略）初日の全大会からみっちりスケジュールが組まれて
いましたが、時の過ぎるのも忘れるくらい充実した時間を過
ごすことができました。琉球大学の山口剛史さんの分りや
すい講演、宮崎大学農学部の学生さんの懸命になされた報
告は、いずれもととても印象的でした。体調不良のため録画報
告となった波平元維さんの講演は、体験に基づいているだけ
に具体的かつリアルで、沖縄戦当時のことを想像することが
出来ました。日本軍の都合で住民が壕を追い出されたり食
料を奪われたりする、日本軍は住民を守らないという波平
さんの話は説得力がありました。（後略）(S・Hさん)

心に残った本

『**不毛地帯**』 著者 山崎豊子
新潮文庫

戦争中、大本営の作戦参謀であつ
たことからシベリア捕虜となり、11
年間に及ぶ過酷な強制労働を課せら
れ、日本に戻りその後の経済社会を
担っていく壮大な話です。

本の前半には、捕虜としてロシアの
極寒の地で重労働を課せられていた
事や、食事もともに与えられなかつ
たことなど、戦争が生んだ悲劇が
書かれていました。私が子どもの頃
シベリア抑留されて
いたという人も周り
にはいました。耐え
難い苦勞を乗り越え
てこられたのだらう
と今更ながら尊敬し
ます。
(宮崎市 H・Mさん)



心に残った映画

『**TOMORROW 明日**』 監督 黒木和雄

えびの市で戦後中学時代を過ごさ
れた黒木和雄監督の名作です。1945
年8月9日、長崎に原爆が投下されて
しまったが、その前日から当日のわず
か24時間を描いた作品。投下される
た名もなき人たちの姿が胸を打つ。明
日出征する青年とその可憐な妻との
美しい初夜、十代の若者たちの恋、主
人公(桃井かおり)が戦時下で出産し朝
日を浴びた我が子を愛おしそうに見
つめる優しい笑顔、ケンパで無心に遊
ぶ子どもなど、通勤、通学、買い出しな
どの客を乗せていつものように動く
市電。そこにひと筋の光が！悲劇は1
3！も見せないが、この善良な市民に
明日が来なかったことに慟哭した。
(昭和のミニトマトさん)

参加者募集！ピースアクションインヒロシマ・ナガサキ ハイブリッド子ども平和会議

未来の担い手である子どもたちが、「平和」について学び、考えるきっかけとして開催します。

【開催日】8月4日（日曜）13：30～15：30
【開催方法】オンライン開催（ビデオ会議アプリZoom使用）
【対象】小学校中学生～高校生
※申し込みが多い場合は抽選となります。

【参加費】無料
【申込み締め切り】6月21日（金曜）
【参加者の事前学習について】
「子ども平和会議」では、自分たちの地域で学んできたことの「共有」を大切にしてい
ます。そのために事前学習として「地域の戦跡などについて調べてみる」「戦争体験者
や被爆者の証言をインターネットで聴いてみる」「自分の住んでいる地域ではどんな平和
活動が行われているか調べてみる」などを必須とします。

【問い合わせ・申し込み】電話0985-32-1234 機関運営部 深野までお電話ください。
co-op
原材料についてのお問い合わせは、商品部 ☎0985(20)2115（月曜～金曜 9:00～17:50）